

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 56》2017年10月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～ 【大分市／別府市】



(大分市)
高崎山自然動物園



(大分市)
杵原八幡宮



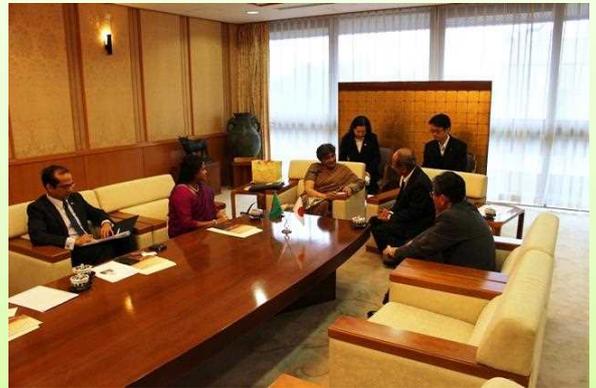
(別府市)
別府の湯けむり



(別府市)
油屋熊八像

Bangladesh駐日特命全権大使が知事を表敬しました

9月12日に、Bangladesh共和国のラバブ・ファティマ駐日特命全権大使が来庁し、知事を表敬訪問しました。ファティマ大使は同日に立命館アジア太平洋大学も訪問しており、「Bangladeshからの留学生が大分県でとても幸せそうに学生生活を送っていることに感激した。支援をいただき感謝している」と述べられました。広瀬知事は、「これから貴国との交流がより広がっていくことを期待する」とし、今後の更なる交流について意見を交わしました。



日中韓3カ国地方政府交流会議にて大分県のPRを行いました

8月28日～9月1日にかけて、韓国の蔚山広域市にて「日中韓3カ国地方政府交流会議」が開催されました。当会議は1年に1回、日本、中国、韓国の各地で3カ国の地方政府間の交流・協力をより一層促進することを目的に開催されており、今回は3カ国合わせて約500人の自治体関係者が参加しました。

今回のメインテーマは「新しいパラダイム提示(発想の転換)を通じた北東アジア地方政府発展施策の模索」であり、観光や環境、少子高齢化など、様々な分野の政策紹介やパネルディスカッションが行われました。



大分県は、広報ブースにてラグビーワールドカップ2019の開催や観光等のPRを行いました！



アジア太平洋友好のためのレセプションを開催

アジア太平洋地域の議員の皆様が会議のため来県されたので、大分県では9月19日に、歓迎レセプションを開催しました。

レセプションでは大分県産の食材を使った料理（豊後牛ステーキ、刺身や寿司、とり天等）が振る舞われ、ゲストの皆様大変喜んでいただきました。また、観光や農産物、工芸品等をPRするため、レセプション会場にて様々な展示も行いました。

また、20日には視察ツアーも実施し、別府の海地獄、血の池地獄、鉄輪温泉等を訪れていたが、議員の皆様には大分県の魅力を存分に味わっていただきました。



「台中市政府&サイクリスト」世界花博PR訪問団来県

台湾台中市と大分県を結ぶ定期チャーター便の就航を機に、大分県と台中市の間で、観光、サイクリング、経済団体等の様々な分野において交流が盛んになっています。

9月10日～11日にかけて、「台中市政府&サイクリスト」総勢45名の訪問団が、来年の11月から4月にかけて開催される「台中世界花卉博覧会(2018 Taichung World Flora Exposition)」のPR及びサイクリング交流のために来県しました。

台中から大分空港に到着した一行は、マスコットキャラクター等に出迎えられた後、市政府関係者は知事を表敬訪問し、広瀬知事と林副市長は、「花博に向けてますます往来が活発になるよう、今後とも相互の交流を拡げていきたい」と懇談を行いました。

夜は別府市内で世界花博PR夕食会が催され、各交流団体が懇親を深め、翌日は中津市で地元市民とサイクリング交流を行いました。



【交通政策課】



世界で活躍する大分県ファミリーのご紹介【呂 恵光さん】

香港で「別府麵館」というラーメン店を経営されている、呂恵光さんが来県されたので、インタビューを行いました！



呂さんは、「大分県海外親善大使」として、香港で大分県の魅力を発信してくださっています。これからも、よろしくお願いたします！

大分県と関わるきっかけは？

1997年に大分に友達ができから、たくさんの人と知り合い、友達の輪が広がっていきました。彼らの力になりたいという使命感から、大分を香港の人に紹介しています。

現在どのようなビジネスをされているのでしょうか？

香港にて、ラーメン屋(別府麵館)をはじめ、うどん屋、ベトナム料理店、シンガポール料理店、寿司屋、マレーシア料理店、ハンバーガーショップ、食品加工工場などを経営しています。別府麵館では、別府の地獄温泉をイメージした辛いラーメン「別府地獄ラーメン」が人気です。

大分県の好きなどころは？

「毎日が地獄です」という言葉でしょうか。温泉が好きで、日田・湯布院・別府の温泉がお気に入りです。

What's up, OITA! の読者の皆様へメッセージをお願いします！

大分県はとても個性的なところ。食べ物がおいしく、空気もおいしく、山や海もあって大好きな場所です。これからも、自分の力で香港の人を呼び込みたいと思っています！

海外大分県人会交流掲示板



9月1日に、ミャンマー大分県人会の松見俊信会長が来庁してくださいました。ミャンマー大分県人会では、10月にヤンゴンにて開催される「ヤンゴン日本人会発足50周年記念行事」に参加し、大分のお国自慢をしてくださるそうです。ご報告を楽しみにお待ちしております！



中国湖北省研修員 ♪大分体験記♪

現在ツーリズムおおいたにて研修中ですが、大分県をPRするために、9月に東京で開催されたツーリズムEXPOに参加しました。大分県の豊かな観光資源を宣伝するほか、世界各地からの出展ブースも見て回り、さまざまなパフォーマンスも鑑賞しました。

現場で外国のお客さまに英語で「かぼす」について聞かれたとき、うまく対応できて、やっと一人前に大分を宣伝できるようになったと感じました。

今度のEXPOでは、日本をはじめ、中国、アフリカなどの地域から様々な国がブースを出しました。特に、祖国である中国のブースに私は非常に親しみを持ち、来場している方にも中国の文化に興味を持ってもらえてとても嬉しく、感謝の気持ちで一杯でした。今回のツーリズムEXPOを通じて、日本をはじめ、世界各地の観光文化への理解がより一層深まり、私にとっても掛け替えのない大切な経験になりました。

【湖北省研修員 戴立君(ダイリックン)さん】





Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（9月）

News

【9月9日（土）～10日（日）】スポーツオブハート in 大分

障害者スポーツの支援イベント「スポーツオブハートin大分」が大分市中心部で9日～10日に開催されました。シドニー五輪女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんをはじめとする有名アスリートや芸能人らが参加し、車いすランナーや子どもたちがたすきをつなぐ「ノーマライズ駅伝」など、障害がある人もない人も一緒に楽しめるスポーツや多彩なイベントが催されました。



News

【9月11日（月）】県産和牛 種牛の部で最高賞

和牛の日本一を決める第11回全国和牛能力共進会が11日に仙台市で開かれ、参加道府県で競う総合順位で大分県は前回・前々回に続き3大会連続で3位に入りました。中でも、『種牛の部』では豊肥和牛育種組合が最高賞の内閣総理大臣賞を受賞し県順位を押し上げ、肉牛の部でも前回は上回る成績を獲得。県産牛のレベルの高さを全国に知らしめる結果となりました。



News

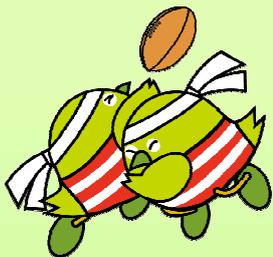
【9月17日（日）】台風18号による被害発生

17日に大分県に最接近した台風18号により、県南部を中心に記録的な大雨となりました。各地で河川の氾濫や土砂崩れが起き、3,500を超える建物が浸水し、1人が死亡、5人が負傷するという人的被害もありました。

県内は17日正午ごろ、風速25メートル以上の暴風域に入り、強い風雨に見舞われました。大分地方气象台によると、津久見市や佐伯市は1時間に110～120ミリの猛烈な雨が降ったとみられています。

News

【9月24日（日）】ラグビートップリーグの試合開催



2019年に開催されるラグビーワールドカップの会場となる大分銀行ドームで24日、ジャパンラグビートップリーグのキヤノン対ヤマハ発動機の一戦が行われ、県内外から1万8,000人を超える観客が迫力あるプレーに魅了されました。また、ドーム内には、ワールドカップの開催都市が会場外に設置し、イベントや飲食が楽しめる「ファンゾーン」を想定したブースも準備され、ラグビー体験や記念撮影等で盛り上がりを見せていました。

From our Reporters



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



シェリダン・ミキシック
(Sheridan McKisick)
県国際交流員
米国

pu1014001@pref.oita.jp

2015年8月に大分に来たのに唐揚げフェスタに行ったことがありませんでした。4年前、留学していた頃に東京で初めて唐揚げを食べましたが、中津と宇佐が唐揚げの聖地だということは全然知りませんでした。運良く、唐揚げ聖地が位置する大分県に引っ越しました。

今年の唐揚げフェスタは台風のせいでも土曜日だけ開催されました。台風18号が九州に近づいていましたが、一番おいしい唐揚げを食べるために唐揚げ聖地・中津に行きました。

雨が激しく降っていましたが、唐揚げのために多くの人が集まっています。特に人気ある唐揚げ屋さんでは人がたくさん並んでいました。さすが唐揚げの聖地でしょう。

唐揚げフェスタでは30以上のブースがありました。かぼすから揚げと椎茸から揚げを含むいろいろな唐揚げを食べました。でも、私のおすすめは唐揚げソフトです。甘さと辛みの組み合わせがとてもおいしかったです！



金 眞雅
(Kim Jina)
県国際交流員
韓国

pu101502@pref.oita.jp

大分県教育委員会と韓国の忠清南道教育庁の「教育・文化・スポーツに等に関する友好交流宣言」に基づき、1998年から始まった両国高校生による日韓文化活動交流事業は今年で20回目を迎えました。私も通訳として毎年参加しています。

今回は忠清南道の大山高校の生徒が3泊4日間大分県立大分南高校へ訪問し、ホームステイなどをしながら日本文化などを体験しました。両校の吹奏楽部の生徒が参加した交流会では生徒合同演奏が行われ、「君の名は。」「アナと雪の女王」の主題歌などを共演しました。短い練習時間だったにもかかわらず、生徒達は素晴らしい演奏を披露してくれました。

また、高崎山自然動物園や海地獄などの観光やとり天、たんご汁など大分の郷土料理も味わうなど大分を満喫してくれました。



張 鵬
(Zhang Peng)
県国際交流員
中国

Pu1014006@pref.oita.jp

日本は交通の便がいいですが、山の奥あるいは海岸巡遊をしようと思ったら、車がなければなかなかできません。せっかく九州にやってきたので、休みを利用して九州周遊を達成したいと思っています。その大前提として自動車の運転免許が必須だと念頭において、外国免許切り替えへの道を歩き始めました。

私は母国では6年間の車通勤歴を持っているので、運転技術に自信があります。しかし、実際に試験に参加したら、想像以上に難しいと思いました。まず、中国と日本は通行方向が逆なので、実際に運転するとき思わず右に寄せる傾向があって危険でした。そして、両国の交通ルールに若干違いがあります。中国では信号が赤になっても、右折が禁止されていませんが、日本では右折も左折もできません。一回目の技術審査は以上の原因でうまくできませんでした。失敗の経験を整理し、二回目は無事に合格できて、やっと日本での車運転ができるようになりました。



～編集後記～

9月末に台風18号が本県に上陸、県南を中心に被害がありましたがお見舞い等ありがとうございました。先月は、いろいろな国のお客さんが本県にお越しいただきました。バングラデシュの特命全権大使が知事表敬にいらしたのをはじめ、フィジー、キリバス、ナウル、パラオ、パプアニューギニア、トンガ、ツバルといった南太平洋や台湾の議員の方々が別府で開催された会議に来ていただきました。大分に来られるのがはじめての方たちも多く、短い期間ですが楽しんでいただけたのではないのでしょうか。フィジーやトンガはラグビーが盛んな国でもあり、ぜひ2年後のラグビーワールドカップ2019の際にも大分においていただきたいと思います。

(国際政策課長 徳野 満)

話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!

(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:小野

【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp

バックナンバーはこちら

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>